

浸水被害低減効果一覧

令和8年8月13日 レベル3大雨警報（浸水害）

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量（㎡）	貯留量（㎡）	貯留率（％）
③ 新羽調整池	港北	ポンプ排水	89,000	1,000	1%
⑥ 飯島雨水調整池	栄	ポンプ排水	15,600	1,153	7%
⑦ 蒔田雨水調整池	南		22,000	100	0%
⑧ 江川雨水調整池	都筑		17,000	2,430	14%
⑩ 金井雨水調整池	栄		6,000	10	0%
⑪ 長津田地区東雨水調整池	緑		54,000	7,710	14%
⑫ 長津田地区西雨水調整池	緑		19,000	1,760	9%
⑬ 相沢雨水調整池	瀬谷		56,000	30	0%
⑯ 万世雨水幹線	中、南		21,000	20	0%
合 計			—	14,213	—

河川施設名	行政区	排水方式	施設容量（㎡）	貯留量（㎡）	貯留率（％）
① 鳥山川遊水地	神奈川	ポンプ排水	44,000	50	0%
③ 今井川地下調節池	保土ケ谷	ポンプ排水	178,000	60	0%
⑤ 宇田川遊水地	戸塚	ポンプ排水	65,000	130	0%
合 計			—	240	—

総 計			—	14,453	—
-----	--	--	---	--------	---

25mプールで換算： 39 杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ1m×長さ25m＝375㎡

- 1 ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。
また、ポンプ排水を行いながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。
ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
- 2 その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。
※上記1、2の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
- 3 貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。